

(平成 29 年 3 月試験研究業務月報)

試験研究課題：肉用鶏への粃米給与による鶏肉の食中毒細菌汚染リスク低減技術の開発
乳用牛の酸化ストレス指標の検討

研 究

京都産業大学との官学連携を図り精度の高い研究を実施

京都府と京都産業大学は、家畜防疫をはじめとした広範な畜産分野の研究や次世代の農業経営人材育成を含む農業分野全般の振興について、相互連携協定を締結しています。

この協定に基づき、平成 28 年度は、当センターから 3 名の職員を同大学へ客員研究員として派遣し、試験研究に対するアドバイスを受けるとともに、高度な分析機器を用いて、牛のインターロイキン等の血中成分の測定や鶏消化管内の大腸菌、乳酸菌等の動態について分析を行い、データを共有することで、共同研究を進めることができました。

今後も、研究機器の相互利用など、同大学との官学連携を図りながら酸化ストレス軽減技術の開発などの試験研究を行っていくこととしています。



新規試験に向けた先生との打ち合わせ



先生からマンツーマンで分析技術を伝授